

三種町議会定例会

令和7年12月三種町議会定例会が、12月9日から12日までの会期で開催されました。行政報告の要旨と審議された主な議案等をお伝えします。

行政報告

◆令和8年度当初予算編成方針

物価高騰や災害等で、住民生活や地域経済は大きな影響を受けており、様々な事業を実施して住民サービスの維持に努めました。

本町の財政状況は、健全な財政状況を維持していますが、統合学校整備事業や広域ごみ処理施設整備事業負担金により、令和6年度から7年度は、合併後最大の歳出規模となりました。また令和8年度以降も、統合小学校の大規模改修やインフラ施設の更新、人件費や公債費などの上昇で、歳出の増加が予測されます。

令和6年度決算では、普通地方交付税が2年ぶりに増加したもの

の、町税は定額減税の影響で減少しており、今後の動向に注視する必要があります。

そのため、引き続き持続可能な財政構造の確立に取り組みます。

令和8年度は改選期のため、当初予算は骨格予算として編成しま

すが、みらい創造プランに沿った次の5分野を、引き続き重点事業として取り組みます。

①住民の暮らしに直結した安全・安心対策

②人口減少克服に向けた若者の定着・回帰対策

③子どもの育みを支える子育て・教育環境の充実

④新しい時代に向けた産業の振興及び雇用の推進等による地域経済活性化対策

⑤DX・カーボンニュートラル等GXの推進

企画政策課

◆地域おこし協力隊

11月17日、新たに地域おこし協力隊として中宮亞希夫さんが着任しました。

◆中央大学との包括連携協定

10月8日、中央大学と包括連携協定を締結しました。本町の産業や地域資源等を学びの場として受け入れ、住民との交流や地域課題の解決に向けて連携します。

◆町民祭

第18回町民祭は、10月17日と18

日の2日間で開催し、約3100人が方がたが来場しました。

5年ぶりに国勢調査が実施され、93人の調査員と15人の指導員からご協力いただきました。

◆国勢調査

11月9日、上野精養軒で開催された総会には180人が出席し、親睦を深めました。民間事業者による「住み続けたい街自治体ランキング秋田県版」で、本町が4年連続の1位となりました。

町民生活課

◆町内の交通事故

9月25日と11月6日、国道7号で計2件の死亡事故が発生し、令和2年5月から継続していた町内での交通事故ゼロが1942日で途切れました。

◆令和7年度人権擁護委員法務大臣表彰

このたび近藤和雄氏が、人権擁護活動における功績を認められ、法務大臣表彰を受賞しました。

◆福祉課

◆民生児童委員一斉改選

任期満了に伴う民生児童委員の一斉改選が行われ、12月1日に委嘱状交付式を行いました。

今回の改選で、新任14人、再任

54人の計68人が選任されました。3年間ご協力をお願いします。また退任されたみなさんは、長きにわたり地域福祉のためご尽力いただき、心から感謝します。

農林課

◆本年産米の作柄概況

今年度からこれまでの「作況指數」が廃止され、その年の収穫量と直近5年間の平均値を比較して算出する「作況単収指數」が新たに導入されました。

令和7年産米の作況単収指數は、県全体で「103」、県北地域は「102」でした。

10aあたりの県平均予想収穫量は559kg、県北地域は541kgで、前年並みです。

◆有害鳥獣被害対策

全国各地でクマの出没や人身事故が相次ぎ、県内では58件の人身事故が発生しています。

11月末現在、本町でのクマの捕獲数は55頭で、昨年の9頭から大幅に増加、大量出没した昨年の65頭に迫るペースです。特に10月以降の捕獲数は43頭で、ブナの実などの大凶作で、餌を求めて活発化したと考えられます。

引き続き獣友会や警察などと連携し、人身事故防止に努めます。

◆8月から9月の豪雨災害の復旧

農地10か所、農業用施設12か所、林道1か所が国から災害認定